

第1層生活支援コーディネーターの報告

(令和2年度 報告)

健幸マイレージポイント付与対象事業申請について	地区福祉委員会 5 団体11事業、コミュニティ協議会 1 地区 6 事業、申請
川西市生活支援サポーター登録	登録者数 63名(担い手養成研修修了者128名へ案内) 第1回ニュースレターを6月に配信(28名メール配信、35名郵送) 年間2回の介護職紹介のニュースレターと年1回の動向調査を行う。

(令和3年度 現状報告)

地域資源管理システムの導入(予定)	<p>概要</p> <p>ICT により地域資源を一元的に把握し、必要な地域資源の情報を簡単かつタイムリーに取得できるシステムを導入する(令和4年3月システム稼働予定。令和3年11月上旬に業者選定予定)。</p> <p>第1層生活支援コーディネーターが取り組む理由</p> <p>コロナ禍における生活様式の変化により、フレイル状態に陥る恐れがある中、地域資源管理システムを利用し社会参加の促進を図り、フレイル予防・介護予防につなげるとともに、地域で活動する際の情報として利用し、地域活動に対する支援の充実に図る。</p>
スマートフォン講習会	<p>概要</p> <p>市と連携協定を締結しているソフトバンク(株)協力のもと65歳以上の市民を対象に開催。初心者向けと使いこなしたい人向けの二部構成とし、市内の公民館等で計21回開催予定。</p> <p>第1層コーディネーターが取り組む理由</p>

	<p>新型コロナウイルス感染予防のために外出を控える高齢者が孤立することを防ぐことや高齢者が情報格差で取り残されることがないように、ICT 機器を活用することにより様々な情報を入手することを促進するため、できる限り迅速に市内全域で講習会を開催する必要がある。</p> <p>様々な情報の取り入れる便利なツールとして利用するきっかけの一つにさせていただくとともに、65歳以上の市民のスマートフォン利用の現状、地域ごとの現状を把握する。</p>
<p>広報誌への地域活動者の特集記事の掲載の検討</p>	<p>現在地域で活動されている方を紹介することによって、地域で活動することが社会参加であり、健康づくりや介護予防につながることを紹介し、人材確保につなげる。</p> <p>広報広聴課や第2層生活支援コーディネーターと連携し、2次元バーコードを読み取り活動状況やインタビューの動画を視聴できる記事にするなど、高齢者だけではなく、若い世代にも興味を持ってもらえるような誌面作りを行う。</p>
<p>川西市生活支援サポーター養成研修</p>	<p>川西市生活支援サポーター養成研修を9月に2日間コース、11月に3日間コースを開催予定。受講者にサポーター登録を促す。</p> <p>サポーター登録者に年間3回程度のニュースレターの配信を通じて、介護職の紹介や動向調査を行うことで、介護職への就労や地域活動への参加の啓発を行う。</p>